Bブロックの「食」ベスト3です。

あなたなら、どの作品を推しますか。
そして東工大生が1位に選んだのは・・・？

答えは作品のあとの講評にてどうぞ。

さい

——何の手を出すか、その時既に勝負は決まっている
落ち着いて考えろ、どの手なら勝てる

しょは

——考え抜いた上で手を出さなければ負ける
夏場の体育の後に牛乳二本目が無いなんて

グー

——俺は昨日文字通り煮え湯を飲まされたんだ
今日こそ絶対にこの冷えた牛乳を飲んでやる

じゃん

——奴は何の手を出そうとしている、良く見ろ
見て最後の瞬間に手を決めるんだ

けん

——さあ、手を出せ、何を出そうと俺は負けない！
おまえの手を見て俺は出すんだ！

ほいっ

ほいっ

お前、それ後出しだぜ

今日も　俺は喉がカラカラだ。

B-8

最後の晩餐

今日は彼女と楽しいデート。待ち合わせは午前十時。十分遅れてきた彼女。
「遅れてごめん」と彼女は言う。「気にしてないよ」と返す僕。

彼女とアクセを見に行った。目に付いたのはある指輪。その台座には赤い石。
まるで血のよう赤い石。財布の中身をチェックした。彼女に送ったその指輪。

「おなかすいたね」彼女は言う。「そんな時間か」僕は返す。「食欲無い」と僕は言う。
「大丈夫?」と彼女は言った。結局、昼は食べない僕。「いったい今日はどうしたの?」
彼女は不安を抱え問う。「僕もなんでかわからない」ただ返せたのはその言葉。

午後は映画を見に行った。話題の映画を見に行った。悲しい恋の話だった。
彼女は少し泣いていた。「私たちはずっと一緒ね」彼女の言葉にうなずいた。

しばらく店を回った後。今日のメインのディナーの時間。小さな海辺のレストラン。
僕が見つけた隠れた名店。「やっぱり食欲無い」と僕。「帰って休もう」彼女は言う。
「いいから食べてよ」彼女に言う。「飲み物くらいは?」と言う彼女。「それくらいなら」と返す僕。
注文したのは赤ワイン。血のように赤い赤ワイン。「おいしい料理ね」喜ぶ彼女。
「今度は一緒に食べようね」彼女の言葉がうれしかった。

彼女は僕が心配と言い。今夜は泊まっていくと言う。彼女と一緒にテレビを見た。
B級ホラーで怖がる彼女。そんな彼女が愛おしかった。

夜中になぜか目を覚ます。枕元にはなぜか水。よく見て見るとそれは赤い血。
あわてて彼女を起こす僕。冷たい彼女は返事をしない。電気をつけると辺りは真っ赤。
彼女のくびもと目をやった。二つの穴が開いていた。救急車を呼んだ僕。
血を落とそうと洗面所へ。鏡に僕が映っていた。その口元から流れる血。
なぜだと思い口を見る。生えていたのは二本の牙。あわててベッドの彼女を見る。
ベッドからたれる彼女の腕。その指先にはあの指輪。血のように赤いあの指輪。
その腕はもう上がらない。冷たい彼女にキスをした。涙を流しキスをした。
僕は窓から飛び降りた。あの世で彼女に謝るために。たった一人に謝るために。

化物(ばけもの)の愛した人間(かのじょ)のために・・・・・。

食べるモノ、食べられるモノ

ウマは草を食べて走ります
クジラはプランクトンを食べて泳ぎます
カモメは魚を食べて飛びます
アリは砂糖を食べて女王に尽くします
カラスは動物の死体を食べてゴミを荒らします
キュウタイｍは位置エネルギーを食べて落下します
スイソは酸素を食べて水になります
パソコンは電気信号を食べてモニターに映像を映します
ゲームは時間を食べて快楽を与えます
モノガタリはアイディアを食べて感動させます
ハンニンマエは経験を食べて一人前になります
シハイシャは奴隷を食べて思い上がります
ヒトは地球を食べて嗤いました
ヒトはテクノロジーを食べて地球に償おうとしています
ワタシは愛を食べてここにいます
アナタも愛を食べてそこにいます
セカイはワタシとアナタを食べて歴史の１ページを刻みます

「食」本選Ｂブロック作品講評

１　食前酒　12位　1ポイント

　残酷で、かつコミカルで、といった風合いでした。気さくな語りかけ口調のおかげで話題のエグさがソフトに中和されて、さらっと聞けます。
　ラストは日常に戻らずにまとめたほうが良かったのでは。

２　ちょっと笑える話　6位　7ポイント

　食をめぐる小話集。くすり、くすくす、けっこう笑えました。私は最初の間抜けなお父さんが一番好きでしたが、いろんな場面へ飛ぶバラエティの豊かさも魅力です。

３　プライスレス　7位　6ポイント

　友達だいじ　とてもまっとうな主張を、だんだん高価になってゆく食事という流れの上に置いて、なるほどと得心できました。
　シンプルすぎるので、もっとおもしろさをはずませるには、豪華食事のエスカレートをとんとんとんと見せていって、さびしい男の姿でも見せてから友達へ、と演出するとよいのでは。

４　「食べる」意味　8位　4ポイント

　「食べる」に含まれている文化としてのいろんな要素のうち、言い訳という点にピンポイントでしぼって組み立てたところが巧さでした。
　それだけじゃなさそうだけど、と思いつつ、いちおう、なるほどね、と納得させてくれる説得力でした。ストーリーに頼らずに論理（　ヘリクツ）で攻めるのも、組み立て始めるとけっこうおもしろいので、みなさまもぜひ。

５　さいしょはグー　2位　11ポイント

　「ほいっ　/　ほいっ」に大爆笑です。
　レイアウトの力を思い知らされました。つぶやきとかけ声だけで、ありありと情景が見えてきて、テンポ良くオチへ。これ以上、１行も要らない、というキレのよさがおみごとでした。

６　いただきま　9位　2ポイント

　食材という抽象的な言い回しから、きゅっとカレーライスに

しぼって、ニンジンをきっかけに「いのち」でまとめ。話題に合わせて、とても賑やかで変化に富んだ展開になったところが佳かったです。

７　スローフード　9位　2ポイント

　キーワードをきっちり置いて組み立てた姿勢が、揺れがなくて安定しています。
　でも、主張そのものは誰も反論できないまっとうさで終わってしまったので、より相手に興味を持ってもらうには、最近自分が経験したスローフードとか、ダメフードとか、実体験をまじえるとよいのでは。

８　最後の晩餐　2位　11ポイント

　ヴァンパイアの悲劇。
　きれいに整えた言葉の律動で、格調高く悲劇を歌い上げて、宝石とワインと血の赤のまぶしさが印象に残ります。
　そこで救急車呼ぶかな？　だけが謎だったのですが、お茶会で作者さんに伺ったところ、その瞬間まで彼は自分が何者であるかを忘れていたのだ、とのことでした。そうした悲劇だったんですね、なるほど。

９　食べるモノ、食べられるモノ　1位　28ポイント

　とんとんとんとん、切れ味の良い包丁の音のように１行ずつのリズムが、ここちよく刻まれてゆきます。
　風景がくっきり見えるよさ、ほどよくこなれたネタ、そしてラストにすとんと哲学。とてもバランス良く仕上げて、とんとん拍子の首位、おめでとう！
　当然のことながら、イチオシフレーズの票も独占で、５つの班から支持されて、イチオシフレーズ大賞受賞です。再び、おめでとう！
　それにしても、これだけたくさんのすてきなフレーズのなかから、敢えて「キュウタイmは位置エネルギーを食べて落下します」をイチオシフレーズに選ぶのですね、Bブロックのみなさまは……

１０　Who are they?　9位　2ポイント

　で誰？　トマトかトウモロコシか。
　とても明るいカリフォルニアの空の下、とても残酷な運命を容赦なく描ききって、ちょっと鬼気迫るほどの乾いた迫力です。

１１　食卓の上にいつものっているそれは、　4位　8ポイント

そうか、ポイントはきゅうりの漬け物か……
くどくど説明せずに、ぱっぱっとモノで見せてゆく手法が、あざやかに決まって、ラストでしみじみ「いろいろのりこえて」と述懐、人生の達人を感じさせます。
で、その、きゅうりの漬け物とやらをコンビニで手に入れちゃうところが、今風というか……

１２　a day,under sunlight.　4位　8ポイント

ささやかな日常に少しだけ冒険を。その小冒険を共有できたようなここちよさでした。時系列をていねいにたどっての緻密な描写が成功しているおかげでしょうか。
でも、いっそ、日本でなく、どこか海外にしたほうが、このふうわり気分がより生きるのでは。